

第63回 道小オホーツク・北見大会 …… 森田 研修副部長

第63回道小教育研究オホーツク・北見大会ですが、オホーツク管内校長会の全面的なご協力の下、オホーツクブルーのもとで開催される予定でしたが、コロナウイルス感染拡大防止観点から会同を取りやめ、誌上開催という形をとらせていただいているところは、ご存じの通りかと思えます。

大切なことは、今後、どのように誌上交流をもり立て、今年度の地区の研究活動を一層価値づけていくかということであります。理事の皆様には、研究提言の趣旨説明者としては、小学校教育でのまとめの原稿を依頼しております。

また、運営責任者のところでは、普段の大会ならば絶対に運営担当にはない人選をさせていただき、運営責任者のお立場から、研究発表の内容や大会要項の原稿などについて、質問や意見をいただき、さらにご指導をいただく予定です。

誌上交流につきましては、「小学校教育」57号をあてて、その中で、まとめや意見交流を行います。この後、佐藤指名理事からも説明がありますが、9月に入り各地区に大会要項を配付いたします。配付にかかる時間を考慮し、その後の原稿の締め切りを設定しております。例年の進行状況ですと12月末に「小学校教育」の冊子が完成し、各地区にお届けしますが、先ほども申しましたが、大会要項の配付に時間がかかるということが判明しました。そのため、予定を少しずつ後ろへ遅らせ、令和3年1月の発行といたしました。ご了承ください。

いずれにいたしましても、皆様方からご意見をいただいてこそその交流であります。ほかの研究団体では、誌上発表はしても、誌上交流まで踏み込むことはまれに思います。道小の研究研修が、意義深いものであるということをも証明するためにも、ぜひ、各地区の校長先生方、特に研修担当の先生方に一声かけていただき、誌上交流に参加していただきたく存じます。